

危機管理対策・庁舎整備等特別委員会

日時：26年11月11日 午前10時00分 から

場所：議会第1委員会室

(報告事項)

川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会の開催結果について

第3回 川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会が、平成26年8月26日(火)、午後3時から、市役所本庁舎5階人会議室で、委員(15名)全員が出席し開催されました。

第3回の審議会では、『市民アンケート結果(速報版)について』、『基本構想(素案)前半部分について』、『庁内検討部会の検討状況について』についてご審議をいただきました。

【第3回 川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会の主な議事内容】

(市民アンケート結果(速報版)について)

- 次回審議会ではクロス集計により詳しく分析結果を整理することとなった。
- 市民ホールの要求度が上位3番目である一方、建設費や管理費が過大にならないことに対する要求度も高いため、取り扱いについて慎重に検討することとなった。

(基本構想(素案)前半部分について)

- 議員定数や将来人口などの与条件の取り扱いについて表現を工夫することとなった。

(庁内検討部会の検討状況について)

- 基本構想の段階では明示的に書くのではなく、与条件を示す程度として、設計計画を拘束しないように工夫することとなった。
- 町田市庁舎を視察した感想について各委員からご意見を頂いた。

第4回 川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会が、平成26年10月6日(月)、午後3時30分から、市役所本庁舎5階人会議室で、委員全員が出席し開催されました。

第4回の審議会では、『市民アンケート結果(確定版)について』、『基本構想(素案)について』についてご審議をいただきました。

【第4回 川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会の主な議事内容】

(市民アンケート結果(確定版)について)

- 市民アンケート結果から、多くの示唆を得ることができた。これを基本に取り込むべく議論を進めることとなった。

(基本構想(素案)について)

- 6つの基本方針の上位にある理念について、各委員でも考え、次回の審議会で議論することとなった。(市民が誇れる庁舎、災害リスクに対して安全な庁舎など)。
- 規模縮小によりコスト削減にも意識するべき、災害への備えは急務であり、工期を短縮し、早期に整備する方策を検討すべきというご意見を頂いた。

第5回 川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会が、平成26年10月28日(火)、午後3時から、鳩ヶ谷庁舎2階大会議室で、委員全員が出席し開催されました。

第5回の審議会では、『基本構想(素案)について』についてご審議をいただきました。

【第5回 川口市新庁舎建設基本構想・基本計画審議会の主な議事内容】

(基本構想(素案)について)

- 会長より、前回の審議会以降、容積率を上げるための方策として用途地域変更の可能性を事務局と検討したところ、困難であることがわかり、当初の計画通り高度利用地区での対応が妥当との認識が示された。
- 資料として提出した建物配置案について、委員より様々な意見が提示され、事務局が改めて検討することとなった。
 - ・市長室と議会施設を同一建物内に配置する必要性
 - ・各敷地の諸室ボリュームの検討積み上げと各パターンの実現可能性
 - ・駐車場の配置と必要規模、床面積の再検討
 - ・単独の議会棟の現本庁舎敷地での整備の可能性

なお、現時点ではパターンA案(現庁舎敷地に市長、議会機能、企画管理部門市民窓口部門を配置し、市民会館跡地に事業部門を配置する案)を有力案として、B、C案の可能性も検討すべきとのご意見を頂いた。別紙参照

○建設工事費用については、昨今の工事費高騰を受けて、工事費単価を見直すべきとのご意見を頂いた。また、市が提示した事業費200億円を上限とするなら、それに応じた庁舎規模とすべきで、既存庁舎(第二庁舎、分庁舎)の活用が必要とのご意見を頂いた。

※工事費用には庁舎本体工事、駐車場、外溝、既存建物解体、付帯建築物工事等が含まれているほか、設計管理、申請関連、汁器備品、移転費用必要となり、庁舎本体の建設費は概ね130億円から135億円程度。